

2024

令和6年8月28日

第28号

(通算133号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!

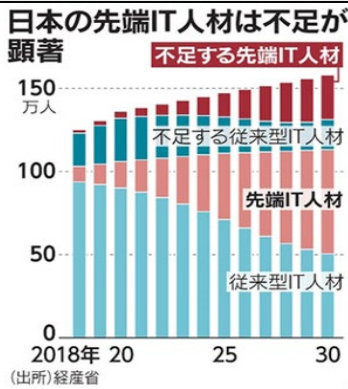
2026年 県立短大は「大学校」に変わります。



## 1 IT人材育成をアピール!



県立学校長会で説明する落合先生



8月28日(水)に県立学校長会が開催され、喫緊の課題となっているIT人材の育成や、本校の大学校化について説明時間を頂きました。経産省によると、2030年までに先端IT人材が80万人不足するとの試算が出ています。落合先生は「沢山の校長先生を前に緊張しましたが、お聞き頂き感謝してました」と話していました。

## 2 高校生がインターンシップ②



インターンシップで説明する石川先生

「いばらきP-TECH」の参加校である勝田工業高校の2年生7人が、本校で1dayインターンシップを行いました。本校では、次代を担うITエンジニアを育成しており、インターンシップでも、システム開発の概要からC言語を学び、ロボットやドローン制御など様々な実践を行いました。参加した高校生からは、「システム開発の理解を深め、構築するための技術を身に付けたいと思う」、「今回のインターンシップで、IT短大のことやプログラマーの仕事について学ぶことができた」「社会に出てからの仕事を体験することで、楽しく意欲的に取り組むことができた」などと話していました。

## 3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞日本経済新聞 (2024年8月22日)  
平易な日本語を心がけよう  
東洋大学名誉教授 山田 肇

### ●川島優愛さん(石岡一高卒)

◇要約: 情報の受け手が必要な情報を容易に見つけ、理解し、使用できる「プレインランゲージ」がある。国際標準化機構は2023年に明確な表現のポイントとして規格化した。

政府や企業が公表する文書は、これに沿った明確で平易な表現を心がけて欲しい。

◇感想: 世界で政府や企業が公表する文書にプレインランゲージという原則が規格化されていることを初めて知った。また、発言に対し改善点を指摘することができるAIがあることにも驚いた。沢山の情報を分かりやすく理解できることは楽しみだ。

### ●増山直樹さん(明秀日立高卒)

◇感想: 長々と話の論理を立てずに会話するのは簡単だが、聞き手は話がつかみにくいデメリットがある。

物事を論理だてて話すことで、脳が活性化され聞き手はスムーズに話が入り、物事を上手に進められると思う。プレインランゲージの原則を意識していきたいと思う。

### ●廣木優香さん(水戸三高卒)

◇感想: 私はプレインランゲージという言葉がこの記事で初めて知った。

国内の外国人も増えている昨今、日本人に向けて分かりやすい文章を作るだけでなく、外国人にも通じるような明確で平易な表現を心がけていくべきだと思う。

### ●山中悠梨音さん(那珂高卒)

◇感想: 私は読みにくく伝わりにくい文章を書くことが多い。そのため「一文一意」を意識していきたいと感じた。

また、重要な文章ほど読み手の存在を意識して、伝える事に重きを置きたいと思う。

### ●田畑 潤さん(鹿島高卒)

◇感想: 「曼荼羅」や「プレインランゲージ」などの言葉を初めて知った。読み手が読みやすい表現を心がけた方がいいと思う。

可読性を重視したプログラムを書けるように心がけて勉強していきたい。

